

市の新たなランドマークへ10年竣工

牧志・安里再開発で

25階建超高層タワー

牧志・安里地区市街地再開発組合（那覇市、外間完造理事長）が建設している同地区第1種市街地再開発事業「プレミスト牧志タワー」（国際通

り）の施設概要が固まった。

25階建て超高層タワーマンションとなり、市の新たなランドマークとなる。2010年10月の竣工を目指している。

特定業務代行者は大和ハウス工業・大林組・國場組JVで、設計は基本設計がユーデ

上コンサルタンツ、実施設計が大林組、施工は大林組・國場組JVが担当している。

再開発事業は、モノレール牧志駅に近い那覇市牧志3と

安里2にまたがる約2・3㌶が対象。南側の敷地にはRC造25階建ての分譲用とRC造6階建ての権利者用の住宅棟（合計161戸）を建設する。

北側の敷地には、12階建ての複合施設棟と駐車場棟を建設する。ともに延べ床面積は2万3000平方㍍。



住宅棟は、ホテルを思わせる上質空間を演出し、沖縄の歴史と風土が育んださまざまな植栽や部材、素材と高級感ある天然石、タイルなどを施す。15階にあるスカイラウンジからは、東シナ海や那覇の街を一望できる。商業棟は、

沖縄発の文化・情報発信の拠点となる物販、飲食施設、ホテル、那覇市による那覇市公民館や那覇市立図書館、プラネタリウムを配備する。

施設周辺整備では、モノレール駅前、バス、車などの交通結節点を形成し、ゆいレール牧志駅から商業棟に直結するペデストリアンデッキを設ける。また、安里川をやすらぎのある親水空間として整備し、安里川の形状をゆるやかにカーブさせるとともに、河川区域を広げる。